

学習指導要領	昭和高校 学カスタンダード
<p>ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。</p> <p>イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。</p>	<p>論理的な文章を読み、文脈をとらえ、語句や表現に注意しながら、筆者の考えなどを的確に読み取り、指定された条件に従って要約したり、詳しく説明・解説したりすることができる。形式段落ごとに内容を正しく把握することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論説や評論において、補足や反証などの関係や段落の構成を的確に捉え、それぞれの働きや関係によってどのような論が展開されているのか説明することができる。 ・各段落の働きを理解し、段落相互の関係を的確に読み取ったり、「序論・本論・結論」などの文章の組み立てや、「頭括型・尾括型・双括型」などの文章の型を指摘したりすることができる。 ・文章中のキーワード、キーセンテンスを筆者の主張との関係で説明できる。 ・指示語や接続詞に着目して論の展開をとらえることができる。 ・筆者の主張を抜き出して整理し、分かりやすく並べ直したり、指定された条件に従って要約したりすることができる。 ・文章中の難解な部分について、詳しく説明・解説することができる。 ・難解な語句について理解できる。 <p>小説等を読んで、登場人物の行動や心情の変化、ものの見方、感じ方・考え方・生き方などを的確にとらえ、人物相互の関係の変容を読み取ることができる。</p> <p>情景描写から心情や物事の起こる予兆などを読み取ることができる。優れた表現を味わうことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の言動・心情の変化やその過程を読みとり理由を説明できる。 ・比喩表現などから状況や心情をとらえ、その移り変わりを説明できる。 ・作品の主題を的確に読み取ることができる。

学習指導要領	昭和高校 学カスタンダード
<p>ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。</p> <p>エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。</p> <p>オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。</p>	<p>様々な文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について、その効果や的確性を根拠を明確にして指摘したり、書き手の主張や目的や手法をとらえたりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用いられている文体の効果や、語句の工夫、対比・比喩などの表現技法の的確性を根拠を示しながら説明できる。 ・書き手の主張や意図を読み取り、説明できる。 <p>幅広く調べた内容を検討して自分の考えをもち、客観的な根拠に基づいて論理的に話すことができる。</p> <p>文脈をとらえ、語句や表現に注意しながら、筆者の考えなどを的確に読み取り、指定された条件に従って要約したり、詳しく説明・解説したりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章中のキーワード、キーセンテンスを筆者の主張との関係で説明できる。 ・指示語や接続詞に着目して論の展開をとらえることができる。 ・筆者の主張を抜き出して整理し、分かりやすく並べ直したり、指定された条件に従って要約したりすることができる。 ・文章中の難解な部分について、詳しく説明・解説することができる。 ・指定された字数内で自分の主張を的確に表現することができる。 <p>成分や文章の構成、語句の意味、用法及び表記の仕方などについて理解し、活用することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文の成分を理解し、照応関係や表現効果を意識して文を書くことができる。 ・様々な文章の段落構成を理解し、また、それを意識して文章を書くことができる。 ・様々な文章について、語句の意味・用法を理解し、また適切に用いることができる。 ・説明的文章に使用される語句のうち難解なものの意味を理解する。 <p>常に辞書を引き、語彙を増やすことをこころがけると同時に、小テストなどにより定着するよう努めさせる。</p>

学習指導要領		都立昭和高校 学カスタンダード
<p>(1) 私たちの生きる社会</p> <p>(2) 現代社会と人間としての在り方生き方</p>	<p>現代社会における諸課題を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正などについて理解させるとともに、現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚させる。</p> <p>現代社会について、倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会など多様な角度から理解させるとともに、自己とのかかわりに着目して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考察させる。</p> <p>ア 青年期と自己の形成 生涯における青年期の意義を理解させ、自己実現と職業生活、社会参加、伝統や文化に触れながら自己形成の課題を考察させ、現代社会における青年の生き方について自覚を深めさせる。</p> <p>イ 現代の民主政治と政治参加の意義 基本的人権の保障、国民主権、平和主義と我が国の安全について理解を深めさせ、天皇の地位と役割、議会制民主主義と権力分立など日本国憲法に定める政治の在り方について国民生活とのかかわりから認識を深めさせるとともに、民主政治における個人と国家について考察させ、政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深めさせる。</p> <p>ウ 個人の尊重と法の支配 個人の尊重を基礎として、国民の権利の保障、法の支配と法や規範の意義及び役割、司法制度の在り方について日本国憲法と関連させながら理解を深めさせるとともに、生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて考察させ、他者と共に生きる倫理について自覚を深めさせる。</p>	<p>「現代社会」の授業を進める際、幸福、正義、公正の3つの概念をキーワードにしていくことを理解させる。</p> <p>青年期と自己の形成に関しては、次の事項を説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○青年期を表す言葉 ○青年期の欲求、マズローの欲求階層説 ○青年と伝統文化、国際化 <p>現代の民主政治と政治参加の意義に関しては、次の事項を理解し、説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○民主政治の形成過程を社会契約説の主張を踏まえて把握させる。 ○議院内閣制と大統領制の特徴と相違 ○日本国憲法の成立過程と三大基本原理 ○平和主義とわが国の安全保障 ○基本的人権の保障と新しい人権について具体的事例を使って理解させる ○国民主権と議会制民主主義を国会の機能に着目して理解させる ○内閣の構成と権限および行政拡大と民主化 ○裁判所の機能と役割、裁判員制度のあらましとその意義について

学習指導要領	都立昭和高校 学力スタンダード
<p>エ 現代の経済社会と経済活動の在り方 現代の経済社会の変容などに触れながら、市場経済の機能と限界、政府の役割と財政・租税、金融について理解を深めさせ、経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察させる。また、雇用、労働問題、社会保障について理解を深めさせるとともに、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察させる。</p> <p>オ 国際社会の動向と日本の果たすべき役割 グローバル化が進展する国際社会における政治や経済の動向に触れながら、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献、経済における相互依存関係の深まり、地域的経済統合、南北問題など国際社会における貧困や格差について理解させ、国際平和、国際協力や国際協調を推進する上での国際的な組織の役割について認識させるとともに、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考察させる。</p> <p>(3) 共に生きる社会を目指して 持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を探究する活動を通して、現代社会に対する理解を深めさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深めさせる。</p>	<p>現代の経済社会と経済活動の在り方については、次の事項を理解し、説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○経済体制（資本主義と社会主義） ○現代の企業 ○市場経済の機能と限界 ○経済成長と国民所得 ○政府の役割と財政 ○金融の機能 ○経済成長と景気変動（GDP、NIの計算） ○雇用と労働問題 ○日本の社会保障 <p>国際社会の動向と日本の果たすべき役割については、次の事項を理解し、説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国際法と国際連合 ○国際政治の展開 ○人権と民族問題 ○国際経済のしくみと貿易 ○地域的経済統合（EU、ASEANなど） ○国際協力の在り方 <p>現代社会に関する諸課題については、次の事項のうちから2つ程度を選択させ課題学習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地球環境問題 ○資源・エネルギー問題 ○科学技術の発達と生命倫理 ○人口問題と私たちの未来 ○発展途上国の貧困